



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田崎 益次

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,083	6.4	194	157.1	193	193.9	147	217.8
28年3月期第2四半期	2,898	△4.2	75	△51.7	65	△60.4	46	△55.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 64百万円 (28.1%) 28年3月期第2四半期 50百万円 (△48.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	32.91	—
28年3月期第2四半期	10.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	9,443	3,578	37.9	797.54
28年3月期	8,848	3,544	40.1	792.79

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,578百万円 28年3月期 3,544百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.00	—	10.00	13.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,305	5.5	404	69.9	389	65.0	278	111.2	61.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,618,520 株	28年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	131,512 株	28年3月期	147,212 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,479,641 株	28年3月期2Q	4,547,608 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年4月からスタートした新中期三カ年計画を「V-1計画」と位置付け、「技術革新を基盤に新しい価値を創造し続ける企業となる」をコンセプトに、重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で事業基盤の整備と強化、収益の柱となる主力製品の受注拡大、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は30億8千3百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益面では、販売の増加、原価低減活動の継続実施等により連結営業利益は1億9千4百万円（前年同四半期比157.1%増）、連結経常利益は1億9千3百万円（前年同四半期比193.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千7百万円（前年同四半期比217.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車関連製品においては、ASA COLOR LEDの受注が第1四半期より引き続き海外向けを中心に好調に推移いたしました。また、スポーツ用ゴム製品である卓球ラケット用ラバー及びRFIDタグ用ゴム製品の受注についても増加いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は25億1百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。またセグメント利益は2億1千1百万円（前年同四半期比56.2%増）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジガセット及び採血用・薬液混注用ゴム栓の販売が好調に推移いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億8千1百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。セグメント利益は1億2千万円（前年同四半期比149.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて5億9千5百万円増加し、94億4千3百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産その他の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて5億6千1百万円増加し、58億6千4百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務及び短期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて3千3百万円増加し、35億7千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて9千2百万円増加の8億5千1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4億6千9百万円の収入（前年同四半期は8千5百万円の収入）となりました。

これは主にたな卸資産の増加額1億4千2百万円（前年同四半期は7千5百万円の減少）があったものの、税金等調整前四半期純利益1億9千2百万円（前年同四半期は7千万円）、減価償却費2億1百万円（前年同四半期は2億1百万円）及び仕入債務の増加額2億4百万円（前年同四半期は6千8百万円の減少）等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億4千万円の支出（前年同四半期は5千2百万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入15億7千9百万円（前年同四半期は16億2千5百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出16億9百万円（前年同四半期は14億5百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出5億3千3百万円（前年同四半期は1億1千1百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億6千6百万円の収入(前年同四半期は5千9百万円の収入)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出5億9千7百万円(前年同四半期は5億7千7百万円の支出)があったものの、短期借入金の増加額3億円(前年同四半期は1千5百万円の減少)、長期借入れによる収入5億円(前年同四半期は7億円の収入)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月4日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,372,474	2,435,249
受取手形及び売掛金	1,676,226	1,685,052
電子記録債権	116,223	127,700
商品及び製品	119,632	148,818
仕掛品	194,022	271,251
原材料及び貯蔵品	72,942	100,113
その他	173,930	150,510
貸倒引当金	△1,652	△1,668
流動資産合計	4,723,800	4,917,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,032,198	993,445
機械装置及び運搬具(純額)	1,203,315	1,151,852
土地	887,802	887,802
その他(純額)	185,660	701,093
有形固定資産合計	3,308,976	3,734,194
無形固定資産		
	9,113	11,993
投資その他の資産		
その他	809,913	783,591
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	806,491	780,169
固定資産合計	4,124,581	4,526,358
資産合計	8,848,381	9,443,384
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	372,545	451,376
電子記録債務	611,013	724,090
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,082,420	993,259
未払法人税等	9,000	48,404
その他	551,541	687,489
流動負債合計	2,626,520	3,204,621
固定負債		
長期借入金	1,982,947	1,974,623
役員退職慰労引当金	110,913	91,722
退職給付に係る負債	545,919	554,644
その他	37,282	39,197
固定負債合計	2,677,061	2,660,187
負債合計	5,303,582	5,864,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,488,072	2,590,011
自己株式	△115,401	△101,038
株主資本合計	3,347,511	3,463,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,047	98,017
為替換算調整勘定	105,241	16,746
その他の包括利益累計額合計	197,288	114,763
純資産合計	3,544,799	3,578,576
負債純資産合計	8,848,381	9,443,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,898,597	3,083,196
売上原価	2,211,844	2,256,872
売上総利益	686,752	826,324
販売費及び一般管理費	610,958	631,435
営業利益	75,793	194,889
営業外収益		
受取利息	822	688
受取配当金	3,168	3,431
雑収入	7,795	13,528
営業外収益合計	11,786	17,648
営業外費用		
支払利息	8,044	7,217
為替差損	4,417	6,695
雑支出	9,372	5,408
営業外費用合計	21,834	19,321
経常利益	65,745	193,216
特別利益		
補助金収入	72,400	16,050
特別利益合計	72,400	16,050
特別損失		
固定資産除却損	529	2,043
固定資産圧縮損	67,335	14,470
特別損失合計	67,864	16,513
税金等調整前四半期純利益	70,280	192,752
法人税等	23,897	45,337
四半期純利益	46,383	147,414
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,383	147,414



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	46,383	147,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,437	5,969
為替換算調整勘定	11,697	△88,494
その他の包括利益合計	4,260	△82,525
四半期包括利益	50,643	64,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,643	64,889

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	70,280	192,752
減価償却費	201,565	201,785
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△349,363	△19,191
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,510	9,923
受取利息及び受取配当金	△3,990	△4,119
未払配当金除斥益	—	△115
支払利息	8,044	7,217
為替差損益 (△は益)	693	19,328
有形固定資産除却損	529	2,043
固定資産圧縮損	67,335	14,470
複合金融商品評価損益 (△は益)	7,054	68
受取保険金	—	△2,995
補助金収入	△74,461	△16,786
売上債権の増減額 (△は増加)	80,241	△49,058
たな卸資産の増減額 (△は増加)	75,445	△142,733
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,806	204,119
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54,282	△6,579
その他	△16,822	△28,711
小計	△52,015	381,449
利息及び配当金の受取額	3,996	4,014
補助金の受取額	74,461	16,786
保険金の受取額	218,119	2,995
利息の支払額	△8,248	△8,268
法人税等の還付額	—	85,016
法人税等の支払額	△150,649	△12,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,663	469,418
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,405,328	△1,609,345
定期預金の払戻による収入	1,625,034	1,579,132
有形固定資産の取得による支出	△111,762	△533,874
投資有価証券の取得による支出	△150,750	△976
保険積立金の解約による収入	—	37,756
その他	△9,654	△13,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,461	△540,599
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,939	300,000
長期借入れによる収入	700,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△577,225	△597,485
配当金の支払額	△43,147	△44,735
自己株式の売却による収入	—	14,362
その他	△4,232	△5,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,455	166,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,453	△55,929
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	96,111	39,439
現金及び現金同等物の期首残高	663,285	812,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	759,396	851,548

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,368,993	529,603	2,898,597
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,368,993	529,603	2,898,597
セグメント利益	135,386	48,413	183,799

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	183,799
全社費用（注）	△108,006
四半期連結損益計算書の営業利益	75,793

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,501,410	581,785	3,083,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,501,410	581,785	3,083,196
セグメント利益	211,427	120,611	332,039

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	332,039
全社費用（注）	△137,149
四半期連結損益計算書の営業利益	194,889

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。